

前沢明峰支援学校

研究テーマ

「児童生徒の自立的・主体的な生活につながる授業実践・指導実践の取組」

1 全体研究

(1) 研究テーマ設定の理由

- ①学校教育目標から
- ②これまでの研究から
- ③校内研究にかかわる職員アンケートから

(2) 研究の内容と方法

- ①研究の基本構想と共通理解
 - ア 第1回 全体研究会：5月28日
 - イ 第2回 全体研究会：12月24日
- ②全体研究テーマに基づく、各学部、寄宿舎の研究計画の作成と推進
 - ア 各学部研究、寄宿舎研究の内容、計画立案
 - イ 各学部研究会（毎月）
 - ウ 寄宿舎研究会（年5回）
- ③授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組
 - ア 授業研究会の開催：年3回（各学部授業提案）
 - （ア）各学部の研究に基づく提案授業
 - （イ）研究内容や推進状況について協議
 - イ 授業研究会まとめ資料の作成
 - ウ 授業研究会におけるアンケート実施
- ④研究のまとめ
 - ア 第2回全体研究会の各学部、寄宿舎の研究発表及び協議
 - イ 本校のホームページで公開

2 各学部の研究の主な内容と方法

(1) 小学部

- ①学部研究の基本構想と共通理解
- ②国語および自立活動の年間指導計画の作成・指導内容の検討
- ③自立活動の目標・内容と関連付けた授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組（通常学級：国語、重複学級：自立活動コミュニケーションに焦点を当てた取組）
- ④授業づくりシート等の活用、改善
- ⑤研究のまとめ

(2) 中学部

- ①学部研究の基本構想と共通理解
- ②作業学習年間指導計画の作成と作業内容、製品、工程等の見直し
 - ア 学校教育目標から個別の支援目標への文脈性について

- （ア）「学部としての作業学習の目標」について
 - （イ）学部目標にある「最後までやり通す」について
- ③作業学習版授業づくりシートの作成と活用・改善
 - ア 作業学習版授業づくりシートについて
 - （ア）作業学習における授業づくりシートの活用
 - （イ）各教科等との関連について
 - ④授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組
 - ア 作業学習における授業改善の取組
 - イ 中学部提案の授業研究会の取組

⑤研究のまとめ

(3) 高等部

- ①学部研究の基本構想と共通理解
- ②「できる状況づくり」「各教科に分けて考える視点」の検討と共通理解
 - ア 「できる状況づくり」の共通理解と取り組み状況の検討
 - イ 「各教科に分けて考える視点」をもつための取組
 - （ア）各教科等との関わりの検討について
 - （イ）授業づくりシートのさらなる活用と改善について
- ③「できる状況づくり」「各教科に分けて考える視点」を活用した授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組
 - ア 2回の授業参観週間の取組
 - イ 高等部提案の授業研究会の取組
- ④授業づくりシート等のさらなる活用と改善
- ⑤研究のまとめ

(4) 寄宿舎

- ①寄宿舎研究の基本構想と共通理解
- ②個別の生活指導計画の作成と見直し
- ③目標達成のための実践とPDCAサイクルによる手立ての改善
- ④個別の生活指導計画の活用、改善
- ⑤研究のまとめ

3 研修会

演題：「児童生徒の自立的・主体的な生活につながる授業実践・指導実践の取組」

講師：岩手大学・富士大学非常勤講師 東 信之 氏

期日：令和3年7月30日（金）9：45～11：35

参加者：本校教職員（参加72名）